

『口頭発表』及び『ポスター発表』執筆要領

○「口頭発表」及び「ポスター発表」として発表される研究概要は、『秋期研究大会発表集録』に掲載されます。

○原稿締切り 2016年9月26日(月) ※締切りは厳守してください。

※2013年度から、Eメールの添付によるPDFファイルの提出のみになりました。
詳細は下記に従ってください。

○ページ数 「口頭発表」 …… A4で2頁または4頁

「ポスター発表」 …… A4で1頁

○投稿資格について：

- ・ 投稿原稿の著者(連名の場合は筆頭著者)は、日本数学教育学会の個人会員とする。ただし、投稿時に非会員でも、投稿と並行して本学会への入会手続きを行えば、投稿できるものとする。
- ・ 筆頭著者としての発表は、論究部会の決定により、論文発表、口頭発表、ポスター発表を通して1件のみとする。

I 執筆要領

1. **原稿の書式** 原稿はA4判の縦置き横書きとし、ワープロを使用し、22字(字送り10.35p)42行(字送り16.8p)の2段組で印字したものとする。別紙の書式に従って執筆する。原則として、ホームページ掲載のテンプレートをダウンロードして使用すること。

本文のフォントは、MS明朝体10.5ポイント、見出しはMSゴシック体10.5ポイントとする。句読点は「、」と「。」を用いる。英字についてはTimes New Romanを使う。原稿をそのまま写真製版して印刷する都合上、余白の長さ(上30mm、下18mm、左右20mm)についても厳守すること。

2. **標題の字数と書式** 標題は40字以内とする。副題がある場合、副題は30字以内とする。また、標題はMSゴシック体18ポイント、副題は14ポイントとする。

3. **文体** 日本語の文体は「である」調とし、常用漢字並びに現代かなづかいを用いること。

4. **見出し番号の付け方** 章、節、項、等は番号と標題をつけ、系統だてて配列する。見出しの番号は、次の順とする。

章の見出し番号1, 2, …, 節の見出し番号(1), (2), …, 項の見出し番号①, ②, …

5. **表・図の番号** 表・図の番号は、それぞれ、表1, 表2, …, 図1, 図2, …のように通し番号をつけ、表や図の標題とともに入れる。表の通し番号と標題は表の上側に、図の通し番号

と標題は図の下側に書くものとする。

6. **引用・参考の仕方** 文章を引用する場合には、引用部分を括弧「」で囲んで引用の部分が分かるようにし、そのあとに、括弧（）を用いて著者と発行年と引用ページを入れる。引用ではなく参考の場合には、参考部分の後に、括弧（）を用いて著者と発行年を入れる。
例：[引用]「...である」（川田，1999，p.4）。[参考]...であった（山田，2000）。
 7. **引用・参考文献及び註の記載形式** 引用・参考文献は論文の末尾にまとめ、次の形式で示す。
引用・参考文献や註のフォントを小さくしたり行間を詰めたりすることは認められない。
(個々の具体的な書式については、近年の数学教育学論究の論文を参考にすること.)
単行本の場合：著者名．出版年（西暦）．書名．出版社．
学会誌や雑誌等の場合：著者名．出版年（西暦）．「論文名」．学会誌名．巻．号．始ページ～終ページ．
 8. **引用・参考文献の記載順序** 著者の姓の英文表記に基づいてアルファベット順とする。
 9. **表・図等の扱い** 原稿をそのまま写真製版して印刷するので、同寸同大で作成する。また、製版に際して縮小するので、86%縮小した後でも十分読める大きさを確保するようにする。
 10. **英文での原稿執筆** 以下の3点に留意の上、執筆する。
 - ① 日本語バージョンの執筆要領を原則とする。なお、本文の基本フォントは Times New Roman の 10.5 ポイントとする。
 - ② 2 段組は行わず、執筆する。なお、余白等は日本語バージョンに従う。また、1 頁の行数は日本語バージョンと同様に 42 行とする。
 - ③ 要約は、日本語バージョンに従って、その部分を日本語で作成する。
 11. **ページ番号** 原稿にはページ番号は付さないで下さい。
 12. **審査** 論究部が審査する。
- ※ 書式の改変は一切認められない。上記 1～12 の要領に従っていない場合は、その時点で「不採択」と判定される場合があるので注意すること。

II 提出方法，部数，送付先

1. **提出方法，部数** 原稿は、PDF ファイルを E メールに添付し、提出する。
「氏名と所属が記入されている PDF ファイル」、「発表者カード」のエクセルファイルの合計 2 つのファイルを作成し、添付する。
2. **論文原稿ファイル名・Eメールの件名** 「論文原稿ファイル名」と「Eメールの件名」には、「発表形態」「第一希望の分科会番号」「氏名」「タイトル」を記載する。

(例 1) 山田太郎さんが分科会 3 で口頭発表を希望する場合

【添付するファイル】

口頭発表 3 (山田太郎)「数学教育における問題解決の研究」

発表者カード (山田太郎)

【Eメールの件名】

口頭発表3（山田太郎）「数学教育における問題解決の研究」

（例2）佐藤花子さんが分科会4でポスター発表を希望する場合

【添付するファイル】

ポスター発表4（佐藤花子）「数学教育における問題解決の研究」

発表者カード（佐藤花子）

【Eメールの件名】

ポスター発表4（佐藤花子）「数学教育における問題解決の研究」

※ 分科会については、既に発表申込み時に記入をお願いしていますが、変更がある場合は、投稿時の希望分科会を記載して下さい。

<分科会>

1. 数学教育学論，研究方法論
2. 教育課程（目標・評価）
3. 問題解決①（問題解決，指導法等）
4. 問題解決②（数学的な考え方，活動等）
5. 数と計算・代数
6. 図形・幾何，測定
7. 関数，確率・統計
8. 言語とコミュニケーション
9. 証明（説明，論証を含む）
10. テクノロジー
11. 数学教育史・数学史の教育活用
12. 教師教育・国際協力
13. 数学学習・指導における心理学的研究
14. その他

3. **論文原稿ファイル送付先** 論文原稿ファイル（PDFファイル）と発表者カード（エクセルファイル）を，Eメールに添付して下記の事務局宛に送付する。

【原稿・発表者カード提出先】

日本数学教育学会第49回秋期研究大会実行委員会事務局宛

mathedu@hirosaki-u.ac.jp

※Eメールによる原稿ファイル，発表者カードの受理後に，受領メールを事務局から返信します。受領メールの返信がない場合，メールを受け取れていない可能性がありますので，お尋ねください。